

「都道府県別メッシュ情報一覧（2010年版）」のご利用に当たって

1. はじめに

このデータは、基準地域メッシュ及び2分の1地域メッシュについて、対応する都道府県・市区町村名、「平成22年国勢調査結果による人口の有無」、「平成21年経済センサス基礎調査結果による事業所の有無」、「地形図名」などの情報を、地域メッシュごとに編集したものです。これまで総務省統計局から公表されてきた各種地域メッシュ統計には収録されていない地域メッシュ（人口あるいは事業所が存在しないメッシュ）も含めて、日本国土にかかる全ての地域メッシュについて収録されているという点に特徴があります。

2. データ内容の説明

データ・レイアウトは以下の通りです。

データ識別部 (RID)																
ID	地域メッシュコード				データの種類	人口有無	事業所有無	当該地域区画にかかる市区町村数	当該地域区画にかかる市区町村情報							
	第1次地域メッシュコード	第2次地域メッシュコード	基準地域メッシュコード	2分の1地域メッシュコード					都道府県番号	市区町村番号	都道府県名	郡市・特別区、政令指定都市名	区町村名	郡市・特別区、政令指定都市読み	区町村読み	第2次地域メッシュの1/25000の地形図名
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

※CSV形式

①ID

世界測地系を識別するため、最初のカラムにデータIDを付している。

世界測地系「2010W」

②地域メッシュコード

日本の国土にかかる第1次地域区画の地域メッシュ区画を、当財団で提供している「平成22

年国勢調査 小地域集計（町丁・字等別地図（境界）データ）」と重ね合わせ、日本の国土にかかるすべての基準地域メッシュ（1 km メッシュ）および 2 分の 1 地域メッシュ（500m メッシュ）を生成した。

※地域メッシュコードは、区画ごとにカラムを分けている。

③人口の有無

②で生成した地域メッシュコードと「平成 22 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」に収録されているメッシュコードを参照させ、人口の有無の区別を付している。

人が住んでいない、人口 0 メッシュ 「0」

人が住んでいるメッシュ 「1」

④事業所の有無

同じく、②で生成した地域メッシュコードと「平成 21 年経済センサス基礎調査に関する地域メッシュ統計」に収録されているメッシュコードを参照させ、事業所の有無の区別を付している。

事業所がないメッシュ 「0」

事業所があるメッシュ 「1」

⑤県・市区町村コード、県名・市区町村名

ArcGIS を用いて、「平成 22 年国勢調査 小地域集計（町丁・字等別地図（境界）データ）」と、②において生成した基準地域メッシュ（1 km メッシュ）および 2 分の 1 地域メッシュ（500m メッシュ）のポリゴン（境界）データを重ね合わせ、当該地域メッシュ区画にかかる都道府県・市区町村のコードおよび名称を抽出した。

また、当該地域メッシュ区画にかかる市区町村数を付している。

⑥25000 分の 1 地形図名

「平成 22 年国勢調査に関する地域メッシュ統計」および「平成 21 年経済センサス基礎調査に関する地域メッシュ統計」に収録されている「当該地域メッシュ区画に含まれる 25000 分の 1 地形図名^{注)}」を抽出して、対応する地域メッシュに付している。

注) 各地域メッシュ統計に収録されていない地域メッシュ区画については、「当該地域メッシュ区画にかかる 25000 分の 1 地形図名」のデータがないため、空白としている。

3. 利用上の注意

- (1) 都道府県境界にかかる地域メッシュ区画については、当該地域メッシュ区画内の人口総数、事業所数により、人口の有無、事業所の有無を判別している。このため、当該県にかかる地域の人口、事業所数が 0 でも、当該地域メッシュ区画内の他県にかかる地域に人が住んでいる、事業所がある場合は、それぞれ「人が住んでいるメッシュ」「事業所があるメッシュ」となる。
- (2) 市区町村名は、平成 22 年 10 月 1 日現在のものである。
- (3) 市区町村ごとに、当該市区町村にかかるすべての基準地域メッシュコード、2 分の 1 地域メッシュコードを収録している。
- (4) 平成 22 年国勢調査 小地域集計（町丁・字等別地図（境界）データ）は、水面調査区（HCODE：「8154」）のポリゴン（境界）を除外して使用している。
- (5) 平成 22 年国勢調査 小地域集計（町丁・字等別地図（境界）データ）に含まれる以下の境界未定地域上にある地域メッシュコードも収録している。
境界未定地域の市区町村コード：01999、05999、13199、42999

3. 利用例

当財団で提供している「平成 22 年国勢調査小地域集計（町丁・字等別地図（境界）データ）」は、市販されている多くの GIS ソフトウェアで利用でき、町丁字別の人口分布等、地域の特徴を統計地図として描画することができます。

この地図データから町丁字という単位で統計地図を作成する際には、都心部と山間部で境域面積が大きく異なることがあるため、誤解を招くことを避けるために、シンボル地図や人口密度といった単位面積当たりの値で塗り分け地図を作成する必要があります。

しかし、町丁字のような小地域ではシンボル地図を作成するのは難しく、また面積の大きい町丁字を人口密度で表現すると、実際には一部の地域にしか人が居住していないのに、一様に人口が分布しているように過大に見えることがあります。

そこで、町丁字別人口分布の上に（図 1）、「都道府県別メッシュ情報一覧（2010 年版）」の人口有無の分布を重ね合わせると（図 2）、町丁字を人が住んでいる地域と人が住んでいない「人口 0」の地域に分割することができ、より実態に即した分布が把握できます。

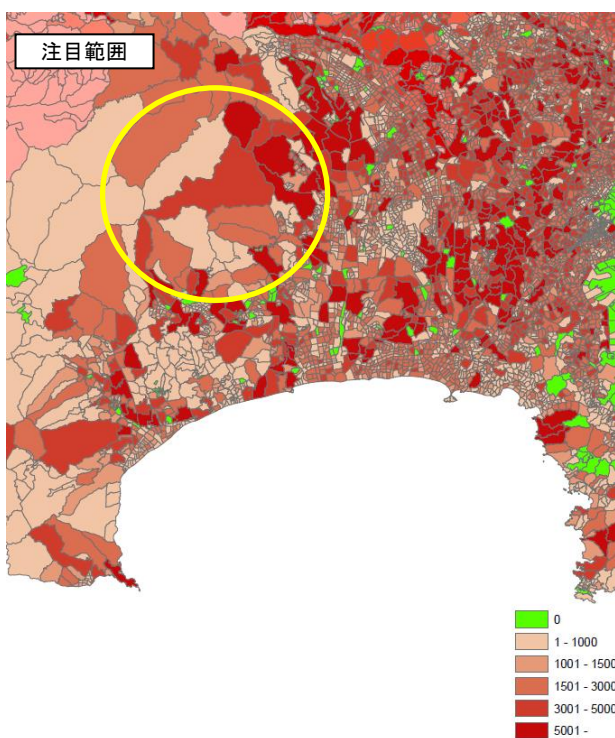


図 1 町丁字別人口分布図（平成 22 年国勢調査結果）

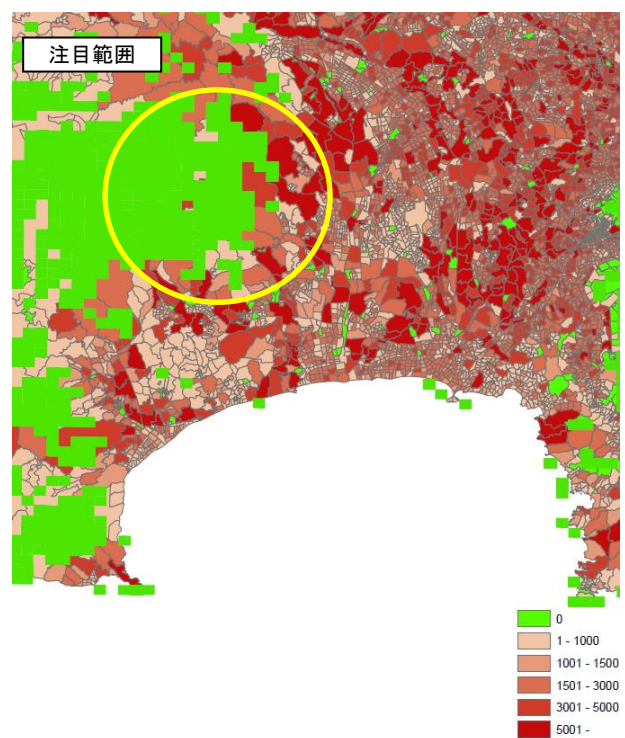


図 2 図 1 に「都道府県別メッシュ情報一覧」の人口有無の分布を重ね合わせた図

非常に簡易なデータ構成であるため、当財団で提供している既存の統計データや統計局から公表されている統計データ等と組み合わせて、地域特性を分析する際の素材としてご利用いただけます。